

第2回益子町図書館基本構想検討委員会会議議事録

日 時：平成31年3月19日（火）

15：00～17：00

場 所：益子町中央公民館 第1研修室

出席者 委員13名、事務局5名

1. 開会（事務局）

2. 委員長あいさつ

3. 会議

（1） 前回会議の質問に対する回答（事務局説明）

益子町図書室 男女別・地区別・年代別の利用状況について
別紙資料（益子町図書室利用者統計）により説明

（2） 基本理念及び基本方針について

（事務局）

事前に皆様にお配りした資料の確認。提言書（5名分） 提言からのキーワード
キーワードカテゴリー分類 基本理念（案） 基本方針（案）の5種類
先ほど、委員から提言書を追加いただいた。

（委員）

益子町図書館建設について

駐車場が広く、気さくに入れるところ。

益子の芸術家、作家の知恵や技術を借りる。喫茶ルームや展示発表ができるスペースの整備

（事務局）

委員のご意見も事前におくばりした資料に含まれているかと思うが、今回の案の作成に関し、
ご説明いたします。

まず、「図書館を考える会」提言、まちづくり意見箱からの意見を総覧し、キーワードを抽出
した。全部で83個。そこからカテゴリー分類し、5つにまとめた。

その5つに沿って基本方針を作成し、同時に基本理念も考えた。

（委員）

個人的に理念・方針の表現の仕方がよくわからないが、子供目線での親しみのある表現か、そ
れとも大人目線でのスマートな表現にすればよいのかよくわからない。

それによって、内容がかわってくるのではないか。

（委員）

理念とはこうゆう図書館をめざすという、いわゆるコンセプト的なもの。

(委員)

図書館単体であれば、既存の施設でも考えられる。また図書館単体で新規建設した場合、補助金はない状況である。補助金をもらうには複合施設を考えなければならない。例えば地方創生の補助金をもらうには、どういう機能の施設が対象となるのか、それによって、理念や方針も変わってくる。できれば、次の会議までに補助金の視点で図書館を核とした複合型施設を考えてはどうか。そうすれば、喫茶ルームやラウンジ等の案が出やすいのではないかと。

(委員)

最初から財源ありきの考えではなく、まずは益子にはどういう図書館が必要なのかを先に考えて行ったほうがよいのではないかと。それがある程度まとまって、そして計画の段階になったら財源の事を考慮し、再度考え直せばよいと思う。

(委員)

図書館を考える会は財源のこともよく考えていた。中央省庁の横断的な補助金を調べていたが、道半ばにして亡くなった。茂木町は5つの補助金を活用した。いろんなところから財源を探す必要がある。両輪で考えればよい。

基本方針の大分類については、この5つの案でよいのではないかと。基本理念の表現で「人財」とあるが、これは造語である。現在、新未来計画で「人財」という表現を使ってみんな知っているが、10年後20年後のことを考えると、「人財」という表現は使わないほうが良いのではないかと。

また、基本方針5で防災拠点というキーワードがあったが、緊急避難所として考えれば、総務省からの補助金も活用できるのではないかと。それから来館困難者についても、今後十分考えられる。買い物困難者も同様。その手立てとして、例えば移動図書館形式にして、安否確認 日用品の販売もセットでとらえ商工会も巻き込んで考えてはどうか。その他、学校教育支援の観点から学校とのネットワーク、音楽を演奏できる小ホールも考慮するとよいですね。

(委員)

益子の消防団は日本一になった。防災の観点から防災拠点という面を取り入れると、補助金もついてくるのではないかと。

(委員)

福祉とか防災とかいろいろな声があるが、基本は図書館である。なぜ図書館が必要なのか、それを端的にまとめたことが基本理念ではないのか。

(委員)

どこの市町村でも計画には基本理念と基本方針が定められている。那須塩原市の物をコピーしたので、参考にされたい。

(委員)

基本理念は全体をカバーする表現である。まずは、基本方針から先に決めて、理念は後から決めればよい。

(委員)

自由な発想でよいと思うが、益子オリジナルの表現の理念でも良いのではないかと。

(委員)

理念は、とにかくみんなが集まる図書館が基本になる。表現は後から考えればよい。

(委員)

人が集まると同時に、長時間滞在も大切。基本理念の表示は那須塩原市のようなものでよい。繰り返しになるが、基本方針から基本理念を考えればよい。

また、今現在で財源の可能性はどうか。

(事務局)

図書館単体での補助制度は結論からいうとない。ただ原発や防衛施設などの立地自治体には例外的にある。茂木町については、約7割が起債（過疎債）、その他中心市街地関係で国交省からの交付金や林野庁、また総務省からの補助があった。現時点では具体的に財源はない。

(委員)

複合施設であれば、現在の地域創生交付金の中からはあるかもしれない。町民活動支援センターやつばさ教室はあるが、不登校の子ども達の相談・受け入れ施設（フリースクール：室長、指導助手の配置）として取り入れたらよいのではないか。とにかく、財源のことは考えないで、いろんな必要性のある機能をまずは上げていったらよいのではないか。そこから対象になる補助事業を、この場に出席している企画課・建設課の優秀な職員が見つけてくれると思う。

(委員)

私もその意見に賛成です。

(委員)

場所は？

(事務局)

未定です。

(委員)

防災拠点の面は賛成です。

(委員)

理念と方針の順番について、方針から先に決めたほうが良い。

(委員長)

皆さんどうですか。方針を先に決めて、理念は後から導き出すということによいか？

(各委員)

異議なし

(委員)

事務局では、図書館の全国的な問題課題は把握しているか。

(事務局)

大きく3点

- ① こどもの読書率の低下
- ② 地域課題解決（まちづくり）に向けた図書館運営
- ③ 電子図書

1のこども読書率の低下については、学年や世代が上がるに比例し、低下する傾向にある。

2の地域課題解決については、図書館は社会教育施設である。特に社会教育の重要施策として、学んだことを生かして、それをまちづくりに貢献するという考えがある。中央教育審議会の答申でもこのことが盛んに言われている。

3の電子図書については、意外と広まっていない。県内でも4か所しか導入していない。なんでそれほど広がらないのか、原因は著作権の関係で電子データのストック量が少ない点にある。国内でも6万冊ほどしかない。

(委員)

学校教育と社会教育の違いであるが、学校教育は活動対象が子ども達全員であり、言い方は悪いが、強制的に教育活動できる。しかしながら社会教育は人が集まらなければ始まらない。先ほど委員が言った、フリースクール的なもの学校からちょっと外れてしまった機能は社会教育が担ってもよいのではないか。例えば公民館で行っている「学びの広場」のような生活困窮世帯の子どもの教育は社会教育の分野である。そのような観点から学校支援につながっていけばよいと思う。

同時に学校図書館と公立図書館のネットワーク連携は大切である。

(委員)

子供達目線からすると、場所が重要。小学生は自分で移動できない。田野・益子・七井の移動図書(車)があればよい。

それから、どこの図書館も仕事現役世代の利用がすくない。

(委員)

アメリカの図書館では、子供の時から図書カードを持たせられる。

ダブリンでは、借りた本をどこの図書館でも返却できる。

移動図書車両もある。図書館はたくさんの人でにぎわっている。

(委員)

学校でできないことができるのが、図書館の大きな役割である。

(委員)

各商店をいかした、まちなか図書館があればよい。

(委員)

幼児のときから図書館にいれば、子供は自然と本好きになる。それが当たり前になればよい。

(委員)

図書館にレファレンス機能が活用できる会議室が必要。図書館にある会議室は一般的に狭い。

(委員)

100名目安の多目的スペースがあればよい、ヤングアダルト対象の音楽スタジオもあってもよい。

(委員)

南那須町図書館は隣に地区公民館が一緒である。開館中は自由に行き来ができる。もしかして、補助金対策ではないか。

(委員)

役場と中央公民館と図書館を一体で整備したらよいのでは

(委員)

公共施設は対応年数の1.5倍以上は使っている。

(委員)

図書館とセットの役所も全国ではあった。

(委員)

委員の言った図書館に会議室はいいと思う。学習室にも活用できる。

(委員)

会議室・多目的室は賛成。柔軟に使える機能がよい。会議室併用できる部屋。

益子=カフェなのでカフェとは別にラウンジがあってもよい。

(事務局)

時間なので確認ですが、方針から理念を導き出すことでよいか。

(各委員)

それでよい

(委員)

「人財」の表現は出来れば使わないほうが良い。

(委員)

鷹山大学では人は財と考えている。別に「人財」という表現をつかってもおかしくない。

(事務局)

時間ですので確認です。本日皆様から頂いた意見を踏まえ、再度、基本方針を修正し、それを4月末までに皆様のところに郵送する。それを事前にお目通しいただき、5月の会議で検討する。理念は方針が固まった後決めればよい。それでよいか。

(委員)

機能のこともセット考えてはどうか。

(事務局)

機能についても基本方針ごとに分けて案を示していきたい。

(3) 先進地視察研修について

第1回目 平成31年3月20日(水)

群馬県 太田市立図書館 茨城県 筑西市立中央図書館

第2回目 今後検討(バスの日程も考慮)

(4) 次回の会議について

平成31年5月21日(火) 13:30 第1研修室

(5) その他

・委員から新聞記事 情報提供あり

- ・日本工業新聞から会議傍聴の希望あり。

(委員) 傍聴はかまわないと思うが、内容が具体化されていないので、来ても無駄足になる。
そのことを先方に伝えてはどうか。

- ・何かご意見があったら、事務局へ